

## 広島市子どもの読書活動推進計画（第二次）の評価

### 計画の目的 「本と出会い・楽しみ・豊かに生きる」

子どもが本と出会い、読書の楽しさにふれながら、ことばの力※や「教養・価値観・感性」等を身に付け、自ら考え、判断し、豊かに生きていくために、あらゆる機会とあらゆる場所において、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境の整備を推進することを目的とする。

※ことばの力とは…子どもの「学習」や「生活」全ての基盤となるもので、自分の気持ちや考えを伝え合う力や情報を正しく理解し物事を的確に判断できる思考力等を指します。

### 基本方針

- 1 家庭、地域、学校等における子どもの読書活動の推進
- 2 子どもの読書活動推進のための施設、設備その他の諸条件の整備・充実
- 3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

### 《目標及び重点施策》

#### 1 目標

図書館、学校等で「本を読むきっかけの提供」や「本を読むことの習慣化」に取り組み、平成27年度には、年12冊（1か月に1冊）以上の本を読む子どもの割合を次のとおりにするよう目指します。

区分	平成22年度 ⇒ 平成27年度 (目標値)	推進状況(実績)				評価
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
小学校5年生	91.1% ⇒ 93.8%	91.2%	91.2%	89.7%	90.5%	<p>本目標について、小・中学校校長会や広島市教育研究会等で周知を図り、各学校において、読書活動の全体計画・年間指導計画の見直しや、調べ学習の推進、「朝の読書」活動の実施について取り組んできた。しかしながら、小学校5年生、中学校2年生ともに、平成23年度、平成24年度に改善が見られたものの、平成25年度、平成26年度は第二次計画策定時の数値を下回り、目標の達成には至っていない。</p> <p>平成25年度の「基礎・基本」定着状況調査の結果に課題が見られた学校に対して、教育委員会が重点的に指導を行った結果、平成26年度の数値に改善が見られたことから、今後も引き続き、各学校の状況に応じた適切な指導を行っていく必要がある。</p> <p>また、学校段階が進むにつれて、子どもたちが読書をしない傾向にある。このため、各学校段階において、児童生徒が読書習慣を身に付け、読書の幅を広げるため、子どもの読書環境を一層整備し、読書の機会の拡充や図書の紹介、読書経験の共有等により、様々な図書に触れる機会の確保に努める必要がある。</p>
中学校2年生	80.9% ⇒ 87.3%	82.4%	84.6%	79.7%	80.5%	

※ 実績値は、各年度の「基礎・基本」定着状況調査（広島県教育委員会実施）による数値。

※ 「第56回学校読書調査」（平成22年5月実施）の全国平均を目標値とする。

## 2 重点施策

### (1) 図書館等における重点施策

重点施策	平成 22 年度の状況	目標 (目標年度： 平成 27 年度)	推進状況（実績） ※実績欄の下線部分は、新規取組				評価
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
発達段階に応じた読書活動のための情報提供の充実	●広報紙・リストなどで、新刊書やテーマに沿った図書を紹介	発達段階別図書リストの作成・配付	●0～3 歳向けの絵本リストの作成（隔年発行）・配布  ●小・中学生向けの夏休みの読書におすすめの本を紹介するリストの作成・配布	●0～3 歳向けの絵本リストの配布 ●幼児～中学生向けの良書目録の作成・配布（隔年）  ●小・中学生向けの夏休みの読書におすすめの本を紹介するリストの作成・配布	●0～2 歳向けの絵本リストの作成・配布 ●3・4 歳、5・6 歳、小学 1・2 年生、3・4 年生、5・6 年生向けの図書リストの作成  ●小・中学生向けの夏休みの読書におすすめの本を紹介するリストの作成・配布 ● <u>職業や将来について考えるための図書を集めたコーナー「高校生のための職業ハッケン!!」を新設</u> ● <u>高校生のための職業に関する図書リストの作成・配布</u>  ● <u>高校生のための職業に関するブックトークの実施（2 回 延参加人数 44 人）</u>	●0～2 歳向けの絵本リストの配布 ●3・4 歳、5・6 歳、小学 1・2 年生、3・4 年生、5・6 年生向けの図書リストの作成・配布 ● <u>中学生向けの図書リストの作成</u> ●小・中学生向けの夏休みの読書におすすめの本を紹介するリストの作成・配布 ● <u>職業や将来について考えるための図書を集めたコーナー「高校生のための職業ハッケン!!」を常設</u> ● <u>高校生のための職業に関する新規購入図書を加えた図書リストの作成・館内展示</u> ● <u>高校生を対象に出前ブックトークの実施（3 回 延参加人数 101 人）</u>	図書館において、発達段階別（3・4 歳、5・6 歳、小学 1・2 年生、3・4 年生、5・6 年生、中学生向けの 6 種）の図書リストの作成・配付を行ったほか、高校生のための職業に関する図書リストの作成・配布も行ったことから、目標を達成している。  こうした取組は、家庭での読書活動の大切さについての理解を深める役割を果たすものであり、今後も、保育園・幼稚園・学校を通じて発達段階別図書リスト等の配付を行うなど、発達段階に応じた読書活動のための情報提供の充実を図る必要がある。  さらに、発達段階別図書リストの活用を図るために、常時児童生徒に関わることができる司書教諭、学校図書館担当事務職員などによる体系的な読書指導が推進できるよう、学校との連携・協力を深めていく必要がある。
図書館での読み聞かせボランティアのステップアップのための研修会の充実	●こども図書館で年に 1 講座開催（1 講座 5 回）	経験者を対象としたステップアップ研修をこども図書館で年に 2 講座開催	●経験者を対象としたステップアップ研修をこども図書館で開催 1 講座（計 6 回） 参加者延べ 264 人	●経験者を対象としたステップアップ研修をこども図書館で開催 1 講座（計 5 回） 延参加人数 365 人	●経験者を対象としたステップアップ研修をこども図書館で開催 2 講座（計 7 回） 延参加人数 324 人	●経験者を対象としたステップアップ研修をこども図書館で開催 2 講座（計 8 回） 延参加人数 506 人	こども図書館で実施する経験者を対象としたステップアップ研修を、平成 25 年度から、年 1 講座から 2 講座に増加して開催していることから、目標を達成している。  こうした取組は、読み聞かせボランティアが活動する上で必要となるノウハウを習得する貴重な機会であり、今後も、研修会の充実を図るなど、子どもの読書活動を推進する人材の活動支援に取り組む必要がある。

重点施策	平成 22 年度の 状況	目 標 (目標年度： 平成 27 年度)	推進状況（実績） ※実績欄の下線部分は、新規取組				評価
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
各保健センターでの 絵本の読み聞かせの 実施の充実	●4 か月児健康 相談において絵 本の読み聞かせ を実施 132 回（4 か月 児健康相談実施 回数 306 回）	4 か月児健康相談 において、毎回絵 本の読み聞かせ を実施	●4 か月児健康相談にお いて、絵本の読み聞かせ を実施 220 回（4 か月児健康相 談実施回数年 310 回）	●4 か月児健康相談にお いて、毎回絵本の読み聞 かせを実施 310 回（4 か月児健康相 談実施回数年 310 回）	●4 か月児健康相談にお いて、毎回絵本の読み聞 かせを実施 304 回（4 か月児健康 相談実施回数年 304 回）	●4 か月児健康相談にお いて、毎回絵本の読み聞 かせを実施 311 回（4 か月児健康相 談実施回数年 311 回）	各保健センターが実施する 4 か月児 健康相談において、平成 24 年度から、 毎回絵本の読み聞かせを実施している ことから、目標を達成している。 4 か月児健康相談は、受診率が 96% （平成 26 年度実績）あり、乳児を持つ 保護者の多くが参加することから、この 機会を捉えて、絵本の読み聞かせの大切 さや意義について保護者に対し普及を 図ることは、非常に効果的である。 引き続き、各保健センターでの絵本の 読み聞かせ等を実施し、家庭における読 書活動の習慣化を推進していく必要が ある。

(2) 学校における重点施策

重点施策	平成22年度の状況	目標 (目標年度： 平成27年度)	推進状況(実績) ※実績欄の下線部分は、新規取組				評価
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
<b>読書活動の全体計画・年間指導計画の見直し</b>  小学校学習指導要領の改訂 平成20年3月告示、平成23年度全面実施 中学校学習指導要領の改訂 平成20年3月告示、平成24年度全面実施 高等学校学習指導要領の改訂 平成21年3月告示、平成28年度全面実施	●全ての小・中・高等学校で作成している。	全ての小・中・高等学校で、毎年見直す。	●小学校 新たな計画の作成について指導  ●中学校 現計画を引き続き活用し、平成24年度に新たな計画を作成するよう指導  ●高等学校 現計画を引き続き活用し、新たな計画の作成に向けた準備を進めるよう指導	●小学校 全体計画 95% (135/142校) 年間指導計画 96% (137/142校)  ●中学校 全体計画 89% (57/64校) 年間指導計画 86% (55/64校)  ●高等学校 現計画を引き続き活用し、平成25年度に新たな計画を作成するよう指導	●小学校 全体計画 93% (132/142校) 年間指導計画 91% (129/142校)  ●中学校 全体計画 78% (50/64校) 年間指導計画 80% (51/64校)  ●高等学校 現計画を引き続き活用し、平成26年度に新たな計画を作成するよう指導	●小学校 全体計画 100% (142/142校) 年間指導計画 100% (142/142校)  ●中学校 全体計画 100% (64/64校) 年間指導計画 100% (64/64校)  ●高等学校 現計画を引き続き活用し、平成27年度に新たな計画を作成するよう指導	小・中学校では、平成26年度に全体計画・年間指導計画での教科等における読書活動の位置付けについて見直しを行った割合が、いずれも100%となり、目標を達成している。なお、高等学校では、平成28年度の学習指導要領全面実施に向けて、新たな計画の作成に取り組んでいる。 今後も、学校や児童・生徒の実態に応じた計画となるよう、計画の見直し・作成を行う必要がある。
<b>小・中学校の学校図書館図書標準冊数の達成</b>	図書整備率 ●小学校 111.6% ●中学校 111.1%	全ての小・中学校で標準冊数を維持する。	図書整備率 ●小学校 110.6% ●中学校 112.2%	図書整備率 ●小学校 112.1% ●中学校 113.4%	図書整備率 ●小学校 113.3% ●中学校 114.6%	図書整備率 ●小学校 114.5% ●中学校 116.1%	新設校(小学校2校、中学校1校)を除き、小・中学校の学校図書館において、図書標準冊数に達している。 今後は、引き続き、新設校の学校図書館図書整備を推進するとともに、古い図書資料の廃棄、更新等図書資料の充実を図る必要がある。
<b>小・中学校での学校図書館ボランティアの確保</b>	学校図書館ボランティアの人数 ●小学校 137校 1,989人 ●中学校 52校 785人	学校図書館の運営に必要なボランティアの人数を各学校で引き続き確保する。	学校図書館ボランティアの人数 ●小学校 133校 1,979人 ●中学校 53校 416人	学校図書館ボランティアの人数 ●小学校 136校 1,968人 ●中学校 48校 342人	学校図書館ボランティアの人数 ●小学校 133校 1,970人 ●中学校 47校 318人	学校図書館ボランティアの人数 ●小学校 135校 1,987人 ●中学校 46校 322人	学校図書館ボランティアの確保については、校長会等を通じて各学校に呼びかけたが、ボランティアの人数は減少傾向にあり、小・中学校ともに、第二次計画策定時の数値を下回っていることから、目標の達成には至っていない。 目標未達成の原因として、各学校で地域や保護者の実態、学校の規模等に違いがあり、一律に人数の確保を呼び掛けることが困難であることが考えられるため、今後は、各学校の実態に応じて必要なボランティアの確保に努めるよう呼び掛けるとともに、ボランティアの役割を明確にし、その実践力の向上を図る取組を推進するなど、ボランティアの人数よりもボランティアの質を大切にしていける必要がある。